

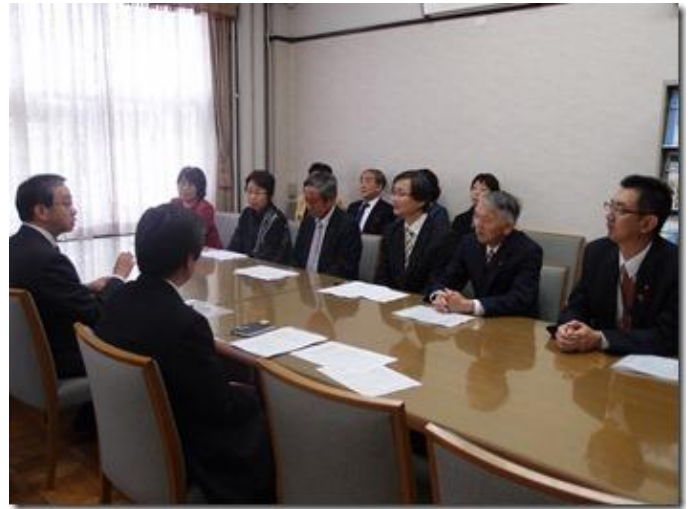
## ●5,239 通の回答が寄せられた市議団「市民アンケート」—結果をもとに市長に申し入れ

2013年3月15日 川崎市議団 HP より

日本共産党川崎市議員団は3月14日、昨年7月から実施した「市民アンケート」に寄せられた5239通の回答をもとに市の施策について市長あてに申し入れを行いました。

ちくま幸一市議団長は、「母のオムツは1日3回は変える。ゴミ収集の問題は、よく考えてほしい」(幸区・70代女性)、「川崎市、横浜市の中学校給食の現状は異常だと感じます。家庭環境によって栄養状態に差が出てしまうなんておかしいです」(幸区・30代女性・会社員)、「介護保険料があまりにも高額になり、年金がほとんど介護医療費に持っていかれます。これ以上年金が目減りしたら2人で心中をするしかありません」(高津区・70代女性・年金生活)など、アンケートに寄せられた切実な市民の声を紹介し、(1)普通ごみ週3回収集の維持、(2)小児医療費助成制度の中学卒業までの拡大、(3)中学校完全給食の早期実現、(4)介護保険料と国民健康保険料の引き上げの中止と負担軽減を要望しました。

応対した砂田慎治副市長が要請文とアンケートに寄せられた市民の声をまとめた冊子を受け取り、「要請は承りました」と述べました。



アンケートを提出し砂田副市長と懇談する日本共産党川崎市議団

### ▼市民アンケートに寄せられた

### 通学路の危険箇所 330カ所・項目をもとに、「安全対策を」と教育長に申し入れ

日本共産党川崎市議団は3月15日、市民アンケートの「小中学校の通学路で危険だと思う場所」の項目に対し、市民から寄せられた330カ所・項目の情報・意見・要望をまとめて、教育長あてに提出しました。

対応した芹澤学校教育部長は「このまとめを参考にさせていただきます」と述べました。また所用で対応できなかった渡邊直美教育長から後ほど、「まとめるだけでも大変だったことでしょう。参考にさせていただきます」とのコメントが寄せられました。



**ごみ収集の維持  
アンケートに要望**  
朝日 市に共産市議団  
15日 日本共産党川崎市議団は  
14日、独自に実施した市民  
アンケートの回答をもと  
に、「普通ごみの週3回収

集の維持」などを市に要望した。ほかに、小児医療費助成を早急に中学校卒業まで拡大することや、中学校給食の早期実現、介護保険料と国民健康保険料の引き上げ中止も求めた。

昨年7月から住宅の郵便受けに約40万枚のアンケート用紙を配り、5239通が返送された。普通ごみの収集回数を来年秋から週2回に減らす計画については、73%が「週3回を維持してほしい」と答え、「2回で良い」は23%だった。「母のおむつを1日3回は変える。よく考えてほしい」という意見もあった。